



あいはら

2024.6.28
町田市立相原小学校
校長 百田 明弘
学校便り NO. 4

「150回目の誕生日」

校長 百田 明弘

6月20日に「ハッピーバースデー相原小～150周年～」集会が行われました。集会委員の児童が準備や計画をして、司会進行を務めました。自分たちの学校が150歳というのは自慢できることですし、相原小学校の一員として誇りや自覚をもつ、良い機会になったと思っています。

はじめに今回の150周年記念行事を通しての全体を貫く考え方「コンセプト」について、話しました。過去、現在、そして未来について考える時間にもなりました。

Keep NATURE

自然を守っていこう！

山、森、川、生きものたち…

Inherit CULTURE

伝統・文化を引き継ごう！

カイコ、竹灯籠…校舎は明治・昭和・令和

Bright FUTURE

かがやく 未来へ！

みなさんがつくっていく…

6年生が総合的な学習の時間で調べて、まとめた「相原小ものがたり」の発表がありました。学校に残る資料や今までの周年の記念誌などから、開校当初や明治時代の学校の様子など役割演技も交えながら、上手に伝えてくれました。知らなかったことがたくさんありました。続いて、50年前に小学生だったという本校卒業生の明星大学特任教授「相原先生」にお話ししていただきました。剣道や野球をしていたこと、在校時の校舎やプールの様子、100周年記念式典のこと、マラソンをしていたこと…など、どれも驚きや発見のあるお話ばかりで、最後に今の小学生に励ましのメッセージも頂きました。

この後、6年生と相原先生の発表を受けて、インタビューの時間がありました。「未来の相原小はどうなっているのか？」「未来の相原小にあったらいいなと思うものは何か？」「未来の相原小に行けたら、何を見たいか？」どんな答えが出たと思いますか？

最後は全員で合唱「みんなだいすき」。素敵な歌声で感動しました。トリは、相原町大地沢生まれのゼルビーくんをゲストに「ハッピーバースデー」の大合唱。3択クイズも一緒に楽しみました。

さて、50年前の記念誌に「父母と教師と児童が語る将来の教育」という座談会ページを見つけました。司会の「これからの相原はどう変わってほしい？」という質問に児童は「店が増え、欲しいものがすぐ手に入る町になってほしい」「緑を残して、そのうえ便利な町になってほしい」「人口が増えて大戸や坂下にも小学校ができるのでは？」「この辺にも高速道路ができるような気がする」「相原の踏切が立体交差になるのでは…」「家庭にコンピューターがいきわたり学校に行かなくても済む時代が来る」…。50年後の今、その通りのこともありますね。この座談会は、PTA 会長が、「なんだかタイムマシンに乗っている気持ちだ」と締めくくっています。私もこの日の集会に参加して、同じ気持ちになりました。秋にはタイムカプセルの企画もありますが、この日にあったことが、30年後や50年後に伝わっていくことを思うとなんだかワクワクしてきます。

相原小学校ものがたり（あいはら～今昔～）**◆◆◆◆**150年の軌跡を伝えるミニコーナー**◆◆◆◆**

昭和16年国民学校令が公布され、相原国民学校と改称。その年に大東亜戦争が起り、戦時下の生活が始まった。昭和19年に入ると本土への空襲が激しくなり、縁故先への学童疎開も行われ、相原にも各学年に東京より疎開してきた。長福寺の集団疎開児童と交流もあった。「二宮金次郎の像」は昭和19年卒業記念。昭和20年夏、相原は戦火から免れたが、近くでは八王子が焼け野原と化し、終戦となった。相原国民学校は9月1日から再開され、帳面3冊と鉛筆2本が全児童に配られ「宝物」のように喜んだ。教科書の戦争のことや軍国調の文章は削除され、真っ黒な本を前に複雑な気持ちで授業をした。軍国主義は清算され新しい教育が始まった。昭和22年、教育基本法と学校教育法が制定され、教育現場は暗中模索ではあったが、相原国民学校における教育の灯は消えなかった。「進駐軍のMPが調べに来るから教科書や資料をすべて焼却せよ」との命令で押し入れや戸棚の資料はすべて焼かれてしまった。今、歴史のある相原小学校に貴重な文献や資料がないのはそのためである。ともあれ、戦後の混乱期にあっても、教育に情熱を燃やすのは相原の特色であり、伝統でもある。

昭和22年堺村立相原小学校と名称を変更し、六・三制実施により高等科は堺中学校設立。昭和27年教職員が校歌を作ろうと呼びかけ合作し制定。昭和29年、明治42年建築の校舎を取り壊し、校庭を拡張。新校舎八教室が完成。（記念Tシャツの真ん中の木造校舎です）80周年記念式典挙行政。記念事業として、校章を制定（木下平作氏考案）。【相原小学校創立100周年記念誌より】